

■久保田権四郎 実業家。水道管製造から始め、産業機械等総合メーカーとなる礎までつくった{クボタ}の創業者。

くぼたごんしろう

初の日刊新聞1870＝ 備後国御調郡大浜村で、大出岩太郎の末子三男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

内閣発足・・・1885＝15歳：大阪に出、西洋秤用の鋳物を製作していた黒尾駒吉に弟子入り、

年期奉公3年とお礼奉公半年の後、

初の対等条約1888＝18歳：さらに技術を磨くため、塩見鋳物に転職するとともに、儉約して貯金し、

帝国憲法発布1889＝19歳：

帝国議会始・1890＝20歳：独立し、長屋を借りて大出鋳物を開業。

大津事件・・・1891＝21歳：郷里因島の鍛冶屋の娘サンと結婚。

仕事に精を出し注文も増えて2000円蓄えたところ、失火して長屋を追い出されるなどした後、

日清戦争始・1894＝24歳：

日清戦争終・1895＝25歳：今宮の工場を月賦で購入、ようやく落ち着く。

八幡製鉄始・1897＝27歳：\_出入りしていたマッチ機械製造業者久保田藤四郎に気に入られて養子になり、久保田鉄工所に改名すると、コレラなどの流行で都市水道の整備が急がれるも、対応できる国内企業が無く輸入に頼らざるを得ない状況に、寝食忘れて鉄管鋳造を研究、

ピアノ国産化・1900＝30歳：\_画期的な立込丸吹鋳造法の開発に成功、

日比谷公園・1903＝33歳：\*大阪で開かれた第5回内国勲業博覧会に輸入管上回る口径の直管を出品、全国に知られるようになる。

日露戦争始・1904＝34歳：\_立吹回転式鋳造装置を開発して作業能率を高め、'輸入品に劣らず'の称賛を得、ガス管にも採用され、

日露戦争終・1905＝35歳：

満鉄発足・・・1906＝36歳：

韓国反日暴動1907＝37歳：\*業界における地位は不動のものとなり、鉄管専門の工場建設に着手、

アサヒ創刊・1908＝38歳：稼働始めると、

伊藤博文暗殺1909＝39歳：鉄管国内市場の36%を占め、以後増大、

明治天皇没・1912＝42歳：\_60%を超えるに至る。

第一次大戦始1914＝44歳：\_機械需要の急増に対応、最新装置を設備して、旋盤の製造を開始。

21ヶ条要求・1915＝45歳：早くも海軍向け中心に各種旋盤を手掛け、

ロシア革命・1917＝47歳：浅野造船所に大型貨物船用スチームエンジンを納入、鉄管専門・鋳物専門工場も新設。

自動車の普及が見え始めると、

ベルサイユ条約・1919＝49歳：関西財界人と協力して、実用自動車製造株式会社を設立し、社長に就任。海外視察に出、

大暴落・・・1920＝50歳：ゴルフ式三輪自動車を完成、

原敬首相暗殺1921＝51歳：四輪車に切り替えるが、

関東大震災・1923＝53歳：\*農耕用エンジンを発売。折からの西日本の干ばつで、重要が急拡大、鋳鉄管用自動製芯機を開発。

護憲三派圧勝1924＝54歳：\_鋳鉄管品質の均一な外型つくる自動成形機を開発。

震災後、アメリカからの自動車輸入が急増して、事業縮小に追い込まれ、

日本時代始・1926＝56歳：合資会社ダット自動車商会と合併、発足したダット自動車製造株式会社の社長になり、

金融恐慌・・・1927＝57歳：\_漁船用発動機に着手。2度目の海外視察に出、ドイツのランツ社からパーライト鋳物の特許を購入。

海軍軍縮条約1930＝60歳：ダットサンの原型ダット号を製造するも、輸入車に対抗できず。\_高級鋳鉄管を開発、株式会社に改組。

満州事変・・・1931＝61歳：ダット自動車の持株を戸畑鋳物に譲渡し、社長を辞任。

国際連盟脱退1933＝63歳：

帝人疑獄事件1934＝64歳：\*社長を辞任し、相談役になる。

日中戦争始・1937＝67歳：

日米開戦・・・1941＝71歳：

・・・1942＝72歳：

敗戦・・・1945＝75歳：

独立回復・・・1951＝81歳：

TV放送始・・・1953＝83歳：久保田鉄工株式会社に改称、

美智子妃・・・1959＝89歳：\_没した。

法政大学「日本の企業家活動」、